

のか、うそをいうのか、意志が強いのか弱いのか、など性格から判断したりして、疲れているかいないか判断することにしている。

○そのために、気持の上でわざらわしく感じて記入しにくい現状である。

2 満足感

○一时限の授業で種目ごとの満足不満足一時間を通じての満足不満足の別もある。

○興味をもったという意味からの満足感、ゲームに勝ったから、自分で熱心に学習したから、身体的に充分な運動をしたから、友達との関係、その日の気分等からくる満足不満足、またそれらの総合された満足不満足感などがあるので人数の判定はむずかしい。

○本当に満足か不満足かの様子があらわれる場面をみつけることがまだできない。したがって組全体の児童からうける感じだけで判定するような現状である。

3 学習内容

○毎时限、どのように、このようにと反省はするので最高の○最低の×はつけられない。

4 次時の学習

○適切ということの中に次時に悪影響がないことと理解されているのであまり影響するよう強く動くことは少ないが、どのような生理的なものがあるかは別にして、他教科を学習した後と体育の学習時の後との比較をして（個人についてはあまりできないが）大体の判定をしている。

5 顔色や皮膚

○気象条件、体調、友だちとの関係、心配ごと、喜びごとなど、肉体的なもの心理的なものが作用するのでむずかしいし判定の基準もつくってないが、体育時前後の比較で大体の様子をみるとことしている。

6 呼吸や発汗

○一時間を通してみた場合と、ある場合をと

らえてみるとときと考えられる。一時間中呼吸があらいなどということはあり得ない。

○発汗も個人差、体調、気象条件、着衣、心理的な作用、運動種目などのちがいが発汗の量に關係すると思われるので人数で記入することはむずかしい。そのへんのことがらを、さがし出していくことが適切な指導法であるかもしれない。

○学級では、一时限の中一度でも汗のた人數を記録している。

7 水の摂取

○水道管がこおり水がです記録するどころかのめないことが数回あった。

○上記の項と同じような問題がある。

○体育時終了後次時までにのんだ人數を調べている。

どの項目についても記入上の問題はまだ多くあるが、尺度としての言葉の内容をくふうするよりも、日常の児童の様子を具体的に調べたり観察したりしておき項目にしたがって記入したり反省したりすること。またその項目がどこへ現れてくるかを考えみつけ出すことも、大切なことだと思われる。



昭和40年度 身体の発育状況 羽村東小学校

〔男 子〕

学年	種別	身長	体重	胸囲	座高
1 年	都	114.4	20.1	57.2	64.7
	全	113.4	19.7	56.8	64.1
	春	114.7	20.5	55.4	64.3
	秋	116.4	21.7	57.7	65.4
2 年	都	120.0	22.4	59.1	67.2
	全	118.8	21.8	58.8	66.6
	春	119.2	22.7	57.6	67.2
	秋	122.5	24.0	61.1	68.4
3 年	都	125.5	25.0	61.5	69.7
	全	124.0	24.2	60.9	69.0
	春	125.2	24.3	59.9	69.7
	秋	128.0	26.5	63.1	70.5
4 年	都	130.4	27.6	63.4	71.6
	全	128.8	26.6	62.8	71.1
	春	130.9	28.2	62.2	72.3
	秋	133.2	29.6	65.4	73.6
5 年	都	135.4	30.6	65.8	73.8
	全	133.6	29.2	64.9	73.2
	春	134.3	30.0	64.7	72.4
	秋	137.3	31.2	66.8	74.7
6 年	都	140.6	34.0	68.1	76.1
	全	138.5	32.2	67.1	75.3
	春	139.3	34.3	67.3	75.0
	秋	143.0	36.0	70.0	76.8

〔備 考〕

都 都平均 春 羽村東小学校 4月 測定月日 春 昭和40年4月現在 4月12日～17日

全 全国平均 秋 羽村東小学校 10月 秋 昭和40年10月現在 10月11日～16日